

第1回津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日時：平成28年8月17日

場所：市役所4階 大会議室

【配布資料】

- 資料1 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱
- 資料2 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員（名簿）
- 資料3 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業進捗状況表

開 会

挨拶

〈日比市長〉

みなさん、こんにちは。

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。

現在、ご承知のとおり、人口減少、少子高齢化が大きな問題となっております。

そこで、国におきましては、人口減少、少子高齢化に対応するため「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、地方創生に向けて、この問題に取り組んでいくこととしております。

津島市でも、急速な人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を創生していくために、平成28年3月に、人口の現状と将来の展望を提示する「津島市人口ビジョン」及び本市の実情に応じた今後5年間の目標や基本的方向、具体的な施策をまとめた「津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、4つの重点戦略を設定し、重点戦略を踏まえた目標を定め、それを達成するために施策・事業を実施することとしており、現在、各課において、目標の達成に向けて、各種事業に取り組んでいるところです。

本日の委員会では、津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載している各種事業につきまして、平成27年度の実績、評価等、進捗状況をご説明させていただきます。

皆様には、各種事業の進捗状況についてご協議をいただき、津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びにあたり、皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

委員紹介

事務局紹介

資料確認

次第1 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長に江口委員、副委員長に山本委員を選出
- ・江口委員長あいさつ

次第2 議題

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

基本目標1「若い世代の結婚・出産・子育てを応援する」の事業の進捗について、事務局より説明

〈委員長〉

- ・ただいまの説明では、KPI（重要業績評価指標）の数値目標が設定されている項目について説明いただいた。
- ・総合戦略の大きな目的としては、人口を増やすということがあり、人口を増やすためには出生数を増やすことと、転入超過の状態にすることが必要である。最近の津島市の人口動態を教えてください。

〈事務局〉

- ・昨年行われた国勢調査の速報値では、5年前の前回調査と比較して1,787人減少しており、減少率は2.7%である。
- ・住民基本台帳でも人口は減っているが、平成25・26年の減少数は600人台だったのに対し、平成27年は376人の減少である。
- ・自然動態について、平成27年は265人の自然減の状況であり、出生数は前年と比較して45人減少した。
- ・社会動態について、転出超過の状況は続いているが、平成25・26年の社会減は400人台だったのに対し、平成27年は111人の社会減である。
- ・人口ビジョン策定時においては、近隣市町村、特に愛西市への転出超過の状態であったが、平成27年度単年で見ると、愛西市への転出数と転入数は均衡している状況である。

〈委員長〉

- ・出生数の減少は、出産期の女性の数が減少していることに起因していると推測できる。
- ・愛西市への転出、転入数が均衡している状況は、単年とはいえ、良い傾向である。総合戦略を推進し、こういった傾向が定着すれば、総合戦略が機能しているということになる。
- ・こういった数値は非常に重要な数値なので、次回の委員会でも説明してほしい。

〈委員〉

- ・進捗状況を説明してもらったが、どのような質問をすればいいのか。

〈委員長〉

- ・例えば数値目標が設定されている項目について、目標が達成されていなければ、その原因や、達成に向けての方法、平成27年度の実績・評価や平成28年度の実績に対する意見等がある。

れば、発言してほしい。

〈委員〉

- ・2番の「子育て支援センターの機能強化」について、実績値が目標値を大幅に上回っている状況だが、策定時の目標設定が甘かったのではないか。

〈事務局〉

- ・東地区子育て支援センターは、平成27年4月から日曜日開所を実施しており、その効果が数値に表れたと思われる。
- ・総合戦略は、策定して終わりではなく、こういった委員会で協議していただき、必要に応じて見直しを図っていく。

〈委員〉

- ・11番の「多様な保育サービスの充実」については、実績値が減少しているため、実施方法に誤りがあったのではないか。

〈事務局〉

- ・ご指摘のとおり、実績値が策定時の数値を大きく下回っているが、今年度は7月末の時点で、既に昨年の実績値を上回っている状況であり、今後も利用拡大を図っていく。

〈委員〉

- ・「津島市で子育てしたくなる環境づくり」の項目にある事業のうち、県内他市町村にはあまりなく、津島市の売りになるような事業はあるか。

〈事務局〉

- ・1番の「子育て応援券の発行」については、津島市が先駆けて実施している事業であり、全国的に見ても独自の事業である。

〈委員〉

- ・総合戦略には、それぞれの基本目標に目標指標を定めているため、それを記載してほしい。各事業を実施したことで、目標指標がどうなって、今後どのようにやっていくかを説明しなければ、進捗状況がわからないのではないか。

〈委員長〉

- ・目標指標についての調査がまだ行われていないため、資料に記載されていないと思うが、目標値は記載されていた方がよい。

〈事務局〉

- ・今回は目標指標についての調査は行っていないため、資料に記載しなかった。目標指標を達成するために各事業を実施することとなるので、このような目標があるということを示す意味でも、記載した方がわかりやすいと思われる。次回は資料に目標指標を記載させていただく。

〈委員長〉

- ・5番の「子供に対する医療費助成」について、平成28年度も今までと同様に実施していくということでよいか。

〈事務局〉

- ・これまで通り、継続して実施するということである。

〈委員長〉

- ・これまでと同様であれば、そのように記載する方が、事業の状況がわかりやすいのではないか。
- ・15 番の「保育送迎ステーションの設置」について、実施する方向なのか、そうでないのかが資料で分かりにくい。

〈委員〉

- ・重点的に取り組む事業を絞って実施してはどうか。

〈委員長〉

- ・実施状況欄について、「実施（検討）中」となっているが、実施中のものと検討中のものは分けた方がわかりやすいのではないか。

〈事務局〉

- ・検討中のものについても、全く着手していないわけではないため、実施中のものと合わせて、「実施（検討）中」としている。
- ・本日が初回の委員会であり、資料について色々なご指摘をいただいている。次回の委員会では、本日のご指摘を踏まえ、もう少しわかりやすい資料にしていきたい。

〈委員〉

- ・計画の目標値を見直すことは考えているか。

〈事務局〉

- ・必要に応じて見直しを行っていく。

〈委員〉

- ・市民の要望の多いものは、重点事項として予算の配分も多くするべきではないか。

〈事務局〉

- ・利用される方が多いということは、市民の需要が高いということであるが、他の事業も重要な事業である。

〈委員〉

- ・KPI がないものについては、進捗状況がどうなっているのかが分からない

〈事務局〉

- ・今回の資料は、事業を羅列したものとなっており、個別の事業の状況は分かるが、全体の進捗が分かりづらいため、次回の資料作成に向け、検討を行う。

〈委員〉

- ・どのような優先順位で実施していくかを示してもらいたい。

〈委員長〉

- ・総合戦略は優先順位をつけずに作ってある。また、国からの交付金を受けるために作っているという側面もあり、交付金が活用できそうな事業が幅広く記載してある。
- ・優先順位をつけるのはこの委員会では適当ではないと考える。

〈事務局〉

- ・総合戦略に記載している内容を組み合わせて事業を実施し、交付金を活用するという一方で、様々なものが網羅してあり、その中で優先順位をつけるのは難しい。
- ・KPI についても数値が取れない事業もあるため、設定していない事業もある。

- ・資料の示し方については、この場でご指摘いただき、反映できるものは反映していきたい。

〈委員〉

- ・何を議論するかを示してもらいたい。

〈事務局〉

- ・今回はこの資料についてご意見をいただき、今後にご指摘をいただきながら進めさせていただく。

〈委員長〉

- ・総合戦略を策定し、それで終わりとにならないよう、外部の目で検証するためにこの会議が行われている。

〈事務局〉

- ・本日は市長、副市長も出席しており、また委員には市の部長もいるため、事業の状況については、聞いていただいてもよい。

〈委員長〉

- ・事業の状況について、委員からの質問に対して市が答えるというのは、この委員会の大きな目的であり、委員会の意義はあると思う。
- ・本委員会の委員の多くは総合戦略策定時の策定委員会の委員だった方であり、総合戦略の進捗を確認するのは、策定時の策定委員会の委員が引き続き行うのがよいと思う。

〈委員〉

- ・87番と88番は新たに追加になった項目か。

〈事務局〉

- ・この事業は総合戦略に掲げた事業ではなく、地方創生加速化交付金に採択された事業であり、平成28年度以降に新たに実施する事業であるため、記載させていただいた。

基本目標2「津島市に住み続けながら働けるようにする」の事業の進捗について、事務局より説明

〈委員長〉

- ・37番の「地域公共交通の確保」について、津島市のコミュニティバスの状況は。

〈事務局〉

- ・平成27年度実績では延べ55,000人程度の方に利用して頂いており、平成26年度の53,000人台と比較すると伸びている。
- ・平成26年7月に運行ルートを変更しており、ルート変更慣れた方が利用するようになったため、利用者が増えたのではないかと考えている。
- ・運賃は100円で、小学生以下は無料となっている。

〈委員長〉

- ・市の持ち出しはどのくらいか。

〈事務局〉

- ・約2,500万円である。

〈委員長〉

- ・33番の「駅周辺の土地利用の誘導」について、27・28年度とも検討を行うとあり、ずっと検討するように見えるが、どうか。

〈事務局〉

- ・青塚駅、永和駅について、これまで基本的な調査を実施したことがなく、初めて調査を行った。日比市長になって調査を行ったということは評価していただきたい。
- ・以前と比較すると地区の状況も変わっており、調査によってそれがきちんと把握できた。
- ・今後、アクセスや道路整備等を整理しながら、地域住民と協力して進めていく。

〈委員長〉

- ・このようなやり取りがこの委員会の意義だと思う。記載されている内容について事務局に説明してもらうことで、進捗確認を行っていく。

〈事務局〉

- ・この項目には青塚駅と永和駅についてしか記載がないが、津島駅周辺でも用地買収などを行っている。

基本項目3「人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する」の事業の進捗について、事務局から説明

〈委員〉

- ・49番の「堀田家住宅等の保存・活用」について、堀田家住宅の分家である旧堀田廣之家の活用については何か検討しているのか。本家とトータルで活用すれば、かなりのイベントができると思う。

〈事務局〉

- ・大変申し訳ないが、担当課に状況を確認しておらず、手元に資料がない。

〈委員〉

- ・行政だけでやるのもよいが、民間を活用した方が効率的にできることもある。
- ・先日、天王祭のプレイベントを開催したが、大変安い値段で実施できた。

〈事務局〉

- ・まだきちんと情報をつかんでいないが、色々な利用方法があると思うため、民間の力を活用できることについては、活用していきたい。

〈委員〉

- ・氷室家についても記載があるが、どうしていくのか。

〈事務局〉

- ・担当課は保全していく方針である。

基本目標4「時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る」の事業の進捗について事務局から説明

〈委員長〉

- ・今回は初回の委員会ということで、いろいろご意見があったが、次回開催する際は、スタイル

を変えたうえで開催していきたい。

- ・本委員会の基本的な役割は、事務局から総合戦略に記載されている各事業についての進捗を説明してもらい、それに対して意見を言うことである。

挨拶

〈星野副市長〉

本日はありがとうございました。

どうやってこういったものを評価していくかについて、役所はあまり慣れていない。それはこの役所だけなのかもしれないが、それを露呈させてしまい、申し訳ございませんでした。

やっていることをきちんと書いて、それをどう評価して、これからどう展開していくかということが進捗状況管理だと思う。次回の委員会に向けて、しっかりと整理をさせていただく。

議論の中にもあったが、この総合戦略自体が網羅的な事業計画を提示しており、いかに交付金を受けるかが、元々の総合戦略を作った意味である。その過程で、そういうものを利用しながら、いかにこのまちを良くしていくかということが、本来的な目的である。

そのために、先ほどいただいたご意見を含め、よりよい形にしていきたいと思う。

本日はありがとうございました。

その他

〈事務局〉

本日は、資料について皆様にご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

今後については、副市長が申しあげたとおり、再度見直しをさせていただき、よりわかりやすく、議論しやすい資料にしていきたい。

ただいま資料を配布したが、進捗状況表の 88 番の項目である地方創生加速化交付金を活用した事業である「津島“にぎわい”創出プロジェクト」のパンフレットである。

既に実施しているものもあり、「津島 OSHI」の募集については、津島のいいところを情報発信していただく方を募集しており、「おもてなしステーション」については、企業や店舗に登録依頼を行っている。また、短編小説コンテストについても、現在募集を行っている。

小路めぐりマップの作成についても現在進めており、8月27日（土）には第3回のワークショップを開催し、10月からは小路めぐりのお試し体験会も開催する予定で、最終的に小路めぐりマップを策定する予定である。

ご参加いただけることがあれば、是非ご参加していただきたい。

閉会